

中経 論壇

会長 長子 由美子
東海委員会 委員 櫻井 由美子
協会 委員 櫻井 由美子
士会 委員 櫻井 由美子
公認会計士 櫻井 由美子
日本公認会計士協会 櫻井 由美子
本社 櫻井 由美子



コーポレートガバナンスコード(CGC)が制定され度重なる改定を経て8年がたった。当初は、仏作って魂入れず、の企業も散見されたが、東京証券取引所の市場区分の再編、海外投資家の日本企業への投資の高まりと相まって、CGCを真剣に取り組みようになってきた。特に、社外取締役を3分の1以上にするプライム市場の基準はほぼ達成している。

さらに、政府は2030年までにプライム市場の上場企業に女性役員比率を3割にする目標を掲げている。これ

については道半ばである。なぜなら、言うまでもなく日本が女性を育ててこなかったからである。私は男女雇用機会均等法が施行された数年後に大学を卒業したものの、就職活動では大学4年生女性というのには企業から相手にもされなかった。今さら急に女性を会社役員に、と言われる人も人材を集めることは並大抵ではない。そうなる社会で何らかの形で働き続けているキャリアのある女性を社外役員として探す、という争奪戦とならざるを得ない。

「非」財務情報は「未」財務情報

いる事実があるが、社外役員の選択肢として公認会計士、というのは大変意義深いと思っている。なぜなら、公認会計士は、一般的には監査法人という法定監査を行う組織に属していろいろな業種業態の会社の監査を経験している。監査では、外部環境や事業活動、内部統制、究極は経営者の人格などのリスクまで把握が必要であり、普段から経営に目を配り、幅広い知識と経験が求められる。

ただ、実際に公認会計士を社外役員に選任した企業側の意見としては、重箱の隅をつつくような指摘事項ばかりで中長期から、社外役員として公認会計士の期待がますます大きくなると考える。一役員として企業を支え、社会を支える形も、より主流となっていくべきだ。

公認会計士が社外役員として活躍へ

これから、社外役員として公認会計士の期待がますます大きくなると考える。一役員として企業を支え、社会を支える形も、より主流となっていくべきだ。

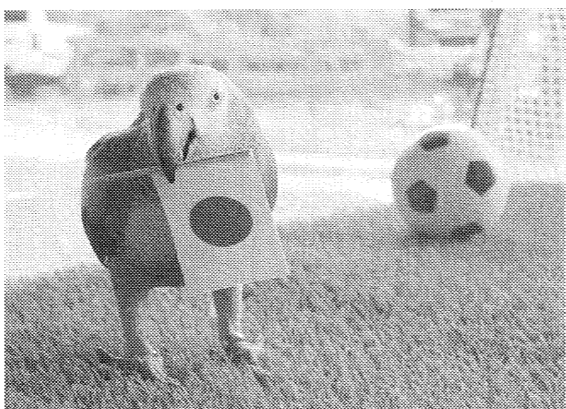


PHOTO NEWS

那須どうぶつ王国(栃木県那須町)で飼育しているインコ的一种「ヨウム」が9日、サッカー女子ワールドカップ(W杯)で11日に行われる準々決勝、日本対スウェーデン戦の勝敗を占い、日本の勝利と予想した。ヨウムはアフリカに生息し、どうぶつ王国で飼育しているのは17歳の雄の「オリビア」。園内でサッカースタジアムに見立てた芝の上に両国旗を立て、どちらを選ぶかを約50人の観客が見守った。オリビアは一度はスウェーデンの旗を口にくわえたが、すぐに日本国旗を選び直し、飼育員の手のひらに乗った。どうぶつ王国によると、オリビアは今大会の日本戦4試合のうち、3試合の結果を的中させた。

オピニオン

Opinion



愛知淑徳大学 准教授
ビジネス学部 鈴木 崇文
1990年生まれ。

近年、政府では客観的かつ合理的な評価に基づく政策立案を行う、EBPM(Evidence Based Policy Making)が推進されている。EBPMは、政策目的を明確化し、かつ合理的根拠(エビデンス)に基づく政策立案を行うという考え方であり、「証拠に基づく政策立案」と訳される。EBPMでは、実際のデータや経済学的な分析組み込みに基づく客観的な根拠が重視され、政策を実施した場合の費用と便益の事前評価や、実施した政策の事後評価が行われる。そのため、国や地方自治体が収集して

日本での 利活用

経済学研究における税務データ

がソ京報提申所も存はな 効政すりデ研関得毎々務企

OPINION

「デジタル」

各所がそれぞれ、久々の研修員来日でアフターコロナの受け入れを手探りしつつ対応くださった。関わったみなさまに深く感謝したい。

本来は、昨年度の研修員も来日予定だったが遠隔実施になった。図らずも同じテーマの研

自己変革で創る新時代 手探りを手応えに

◇216◇

3年目のアフリカ研修を終えて

遠隔の昨年と対面の今年

修を遠隔、対面での二つの形で実施することになった。研修員は、国元にいれば、現状を表す情報の収集、そして実践のフェーズに入った際に備えるの根回しなど足固めはしやすい。一方で、日本にいれば画面越しの参加ではわからない、実際の日本を見て聞いて感じることもできる。街にゴミが落ちていない、きれいで驚いたとの感想は来日してこそその中にも家族とのやりとりができて

想にも、5Sの実践を目の当たりにしたなど、現地現物で視察できたことの感動が記されている。未知のものに触れ、咀嚼(そしゃく)できるのも地元から離れたことへの効用であろう。とはいえ、広島に一日で出かけた研修旅行の最中に、国元から緊急の対応が必要な連絡が入ったからと視察の途中で一時、一行を離れた研修員がいた。来日したことはほとんどない。2

